

いあいさつ
小笠原大佑の決意



幼い頃から、東京へ行ってみたい!と、漠然とした憧れがありました。高校卒業後は、東京の大学へ進学。上京の願いが叶い、経済も文化もそれは早いスピードで回る東京は、キラキラしていました。けれど東京で過ごす中で「どうして東京ばかりがキラびやかなのか?」という思いが、頭をもたげるのでした。青森と東京のこの格差。ねぶた参加や年末年始の帰省でたまに青森に戻ると、街中のシャッターは増え、商店街は歯抜けになるばかり。在学中に東日本大震災も起こり、ぶつけようのない怒りや悔しさばかりが募っていきました。大学卒業後は少しでも青森へ貢献できれば、変えていける力になればと、県内に就職。

しかし、テレビ局の営業部員として多くの青森の人々と関わり、生の声を聞くうちに、このままでよいのかと、納得しきれない自分がいました。人口が減り若い人たちも出て行く一方。誰か青森の未来の舵取りをしないのか? 一では、自分がいま立ち上がるしかない。ここからはじめるしかない、決意しました。

「青森をなめるな。もっとやれるんだ!」

県都青森市の代表として。そして若者たちの代表として。あなたの願い、希望、思いを、カタチにして届ける役目となるよう立ち上がります。未来ある青森を、ともに創りましょう。



▲街頭演説での様子

おがさわら だいすけ
小笠原 大佑

【生年月日】1989年(平成元年)6月29日生まれ
【出身】青森県青森市出身(佃町内在住)
【血液型】A型
【星座】かに座



HP QRコード

【趣味・特技】

映画鑑賞(年100本)、読書(好きな作家は奥田英朗)
筋トレ(ベンチプレスMAX170Kg)、パントマイム
動物好き、食べ歩き、ねぶた(太鼓・笛・化人)

【経歴】

1996年 東奥幼稚園 卒園
2002年 青森市立浪打小学校 卒業
2005年 青森市立浪打中学校 卒業
2008年 青森県立青森高等学校 卒業(58回生)
2015年 早稲田大学社会科学部 卒業
2016年 青森県内テレビ局入社



塾講師を経て、現在は青森県内テレビ局員として勤務。幼少期からねぶたに参加。太鼓叩きと笛吹きに加え、14歳から現在にいたるまで化人(バケツ)としても毎年参加。部活は小学校から高校まで陸上競技部(主にハードル、やり投げ)。大学のサークルではパントマイムを学び、大道芸フェスティバルにも参加。高校公民の教員免許あり。

小笠原大佑 後援会事務所

〒030-0843 青森県青森市浜田玉川187-4

升田世喜男事務所内

TEL: 017-721-3799

FAX: 017-775-2377

Mail: dogasawara86@gmail.com



twitter.com/daisuke_rikken

https://m.facebook.com/daisuke.ogasawara.9

https://instagram.com/daisuke.rikken/

◀後援会申し込みはこちら

小笠原だいすけ

検索

ともに青森を創ろう



33才

小笠原 だいすけ
おがさわら

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

小笠原大佑の決意

誰もが当たり前生まれ、育ち、はたらき、生きていける青森を

創る

「地域通貨」推進

電子決済を活用した地域通貨の推進、県内での経済循環、地域コミュニティ活性化へ

ジェンダー平等

男女賃金格差是正、職場での意思尊重、同性パートナーシップ制度の更なる整備

動物愛護

動物と共に生きる。虐待への罰則強化、殺処分ゼロへ

医療、介護対策

医療・介護制度の充実、自殺防止対策推進、県病と市民病院統合の再検討、県立保健大学との連携強化

持続可能な農林水産業の発展

一次産業への所得・雇用保障。後継者対策推進

防災・減災対策

気候変動を組み込み、被害を最小限に押える環境整備を

— 3つの「創る」を

青森から
エネルギーの未来を

創る

雪エネルギー発電の研究・推進

厄介者の雪を資源へ。雪エネルギー発電の研究開発、更なる雪氷熱利用を推進。雪エネルギーのパイオニア青森となり、エネルギー自給率の向上、雇用創出を

再生可能エネルギーの推進

地熱・風力・水力・波力など、自然豊かな青森の地域特性を活かし、更なる再生可能エネルギー推進を

八甲田山系で計画中的 「(仮称)みちのく 風力発電事業」に反対

大規模森林伐採による生態系の破壊、コンクリート基礎工事による土壌汚染に伴う陸奥湾の漁業や県民の飲料水への悪影響など、青森の郷土を失う風力発電事業に反対

— 政策の柱に —

これからの未来を形づくる
子どもたち、若者の未来を

創る

学びを支える

県独自の奨学金の拡充、教育環境整備、郷土学習推進、教員の負担軽減を

子育て支援

保育所・学童保育所の待機児童ゼロへ。出産・育児支援金、子育ての総合的相談体制の拡充、保育士の待遇改善へ

投票率向上

期日前投票所増設、投票カー、主権者教育、民間との連携による投票クーポン等を推進。若者の意見が反映される「体温の高い」青森へ

魅力ある街作り

商店街の積極活用、文化芸術活動の振興、街と教育機関の連携強化を

